

<講師プロフィール>

大阪大学大学院言語文化研究科 言語社会専攻 教授

ストックホルム大学大学院社会学研究科博士課程修了 (P h. D.)

内閣府「少子化社会に関する国際意識調査」企画委員

(2005年度ならびに2010年度)

<研究内容>

- ・スウェーデンと日本の家庭・社会生活におけるジェンダーと平等
- ・ワーク・ライフ・バランスと父親の育児に関する日本・スウェーデン・EU比較研究

<著書>

- ・「スウェーデンにおけるワーク・ライフ・バランスー柔軟性と自律性のある働き方の実践」
武石恵美子編 『国際比較の視点から日本のワーク・ライフ・バランスを考える働き方改革の実現と政策課題』 ミネルヴァ書房, 2012年
- ・「子育て家族のワーク・ファミリー・バランスージェンダーと子どもの視点からみたスウェーデンの実践」塚口レグランド淑子編『スウェーデンモデルは有効か』ノルディック出版, 2012年
- ・「日・仏・スウェーデン比較」内閣府政策統括官(共生社会政策担当)『少子化社会に関する国際意識調査報告書 平成18年』2006年
- ・「ローンマザー・ファミリーー離婚後のライフスタイル」
善積京子編『スウェーデンの家族とパートナー関係』青木書店, 2004年
- ・Gender dimensions in family life - A comparative study of structural constraints and power in Sweden and Japan. Almquist & Wiksell International 2003

◆スウェーデン滞在について

1987年8月にスウェーデンに移り、2000年2月に帰国するまで、
12年半現地(Lund で1年半、Stockholm に11年)で学究生活を送る。